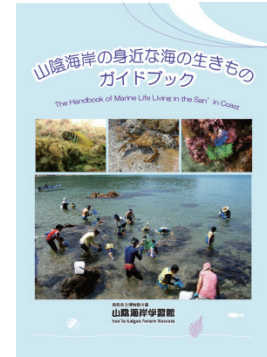


# 生きものガイドブック制作と自然講座による教育普及

原口展子（島根大学汽水域研究センター）・三原菜美（鳥取県立博物館）

## はじめに

山陰海岸の海には多種多様な生きものがくらしています。これらの生きものは、夏休みの自由研究や海岸への漂着物、海水浴での捕獲などによって、多くの人の興味の対象になってきました。生きものに対する理解を深める手段の1つに、図鑑等で種名や生活史などを調べる方法があります。しかし、図鑑や専門書を使って調べることは、ふだん生きものに馴染みのない人にとって難しく、結局わからないまま、関心が途絶えてしまうといった問題点があります。また、鳥取県立博物館『山陰海岸学習館』では、野外観察会の参加者や地域の子どもたち、学校等から、身近な生きものを紹介するガイドブックを作してほしいという要望がありました。そこで、学芸員らが地道に調査・研究してきた記録をもとに、掲載種や話題を身近なものに絞ったガイドブックを作成しました。



本ガイドブックは、山陰海岸学習館のホームページより PDF を無料でダウンロードでき、多くの方々に活用いただけるようになっています (<http://site5.tori-info.co.jp/~museum/gakusyukan/>)。

## ガイドブックの内容

### 1. 生きものを生息環境ごとに紹介

山陰海岸の多様な生きものを取りまく沿岸環境は、「磯場」、「藻場」、「砂浜」に大別されます。それぞれが大切な役割を果たし、沿岸生態系を構築しています。ガイドブックでは、各環境で良く見かける生きものを各パートに分けて紹介しています。

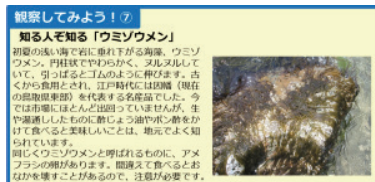
### 2. 海中で見かける様子にこだわった生体写真

標本写真では、海中での様子を想像するのが難しい場合があります。また、実際の生きものたちは、岩の上にいたり、岩穴から顔を出したり、群れでいたりします。そこでガイドブックでは生体写真、すなわち「生きた写真」にこだわることで、生きものたちの魅力を伝えることに努めました。写真の多くは、地元のダイバーの方々に提供いただきました。



### 3. 生きものたちのエピソード

一般的なガイドブックでは、生きものの写真と名前を紹介するだけのものもあります。しかし、生きものたちには知られていないエピソードや観察ポイントがたくさんあります。そこで、本ガイドブックでは、海で観察するのが楽しくなるような話題を集め、「観察してみよう！」や「コラム」のコーナーで紹介しています。



## 自然講座による教育普及

山陰海岸学習館では、「磯の観察会」、「魚の赤ちゃん調べ」、「夜の渚でスナガニの観察」、「海藻観察に出かけよう!」、「打ち上げ貝で宝さがし」等で、山陰海岸の身近な海の生きものをテーマに、その魅力を伝えてきました。また、野外だけでなく室内で楽しく学ぶ“自然講座”も行っており、ただ話を聞くだけでなく、実際に生きものに触れ、観察する機会も設けています。講座によっては、オリジナルの作品を作ることもあります。今回は、発表者らの行ってきたコアな自然講座を紹介します。

### 1. 「見てさわって海藻を知ろう！」

この講座では、海藻の知られざる姿を体感していただくことをモットーに開催しました。海藻は、身近な食材として親しまれていますが、実際の海でくらす姿や形はあまり知られていません。本講座では、海藻の色のひみつや海での役割をお伝えし、参加者の方々にはたくさんの海藻に触れていただきました。食べる時には緑色のワカメは茶色の海藻のなかま。真っ黒なヒジキは海の森をつくる茶色の海藻のなかま。寒天は紅い海藻のなかま。いろいろな種類があるアオノリのなかまなどなど。海藻の知られていないエピソードを専門家ならではの視点からお伝えしました。



### 2. 「海藻おしば」

この講座では、海藻の美しい姿とアートとしての魅力を実感していただくことをモットーに開催しました。「海藻おしば」は、「標本」と「アート」に大別できます。参加者の方々には、ひとつの海藻をきれいに広げ、じっくり観察していただきながら、名前も調べ、標本作りを体験していただきました。そして、いろいろな海藻を使ってのアート作品にも挑戦していただきました。ただ作品を作るだけでなく、「見てさわって海藻を知ろう！」の講座同様、海藻博士だからこそ伝えることのできる、海藻の魅力についても熱く語りました。そして、素晴らしい作品がたくさんでき、参加者の方々の高いセンスに多くのことを学びました。



参加者の作品の一部



### 3. 「鳥の羽で図鑑を作ろう！」

この講座ではさまざまな鳥の羽を使って、いつもとは違った視点から野鳥に親しんでもらうことをモットーに開催しました。野鳥は街中や野外で見られる身近な生きものですが、ふだんは近寄って見たり、触ったりすることはできません。本講座では、鳥の一番の特徴である羽を手にとって観察していただいたあと、その機能について説明しました。さらに、もし野外で羽を拾った場合に興味が広がるよう、羽から鳥の種類を特定するためのポイント(大きさ、色、形など)を説明し、最後に本物の羽を使って図鑑を作りました。講座後のアンケートでは「もっと鳥のことを知りたくなった」「他の羽も図鑑にしたら楽しいだろうな」などの感想があり、参加者の野鳥に対する関心を高めることができましたようです。



### おわりに

身近な生きものについて、興味を持っている方はたくさんいらっしゃると思います。山陰海岸のそばにらす方々はもちろんのこと、他の地域にお住まいの方々にもこのガイドブックをきっかけに、生きものに関して興味関心を深めていただければと思っています。

また、今回紹介させていただいた自然講座は、その分野の深い知識を持った専門家が行っているコアな講座として、より深みのある内容を目指しました。発表者らは今後もさらに発展的な講座に挑戦していこうと思っています。生きものに興味のある方はもちろん、生きものに興味のない方も、博物館施設が行う普及講座にぜひ参加してみてください。そして、少しでも生きものの魅力を感じていただければと思っています。